

## はじめに

私は、平成26年(2014年)3月31日をもって滋賀県立大学を定年退職することになりました。

昭和44年3月に滋賀県立短期大学家政科を卒業したあと、恩師の上田光子先生のお勧めで、学校法人淡海高等家政学校に教諭として就職し、家庭一般、被服、洋裁を担当いたしました。就職した4月はまだ20歳でした。授業を充実させるためにもっと学びたい思いがありましたので、働きながら学べる日本女子大学家政部通信教育課程生活芸術学科に同年10月に編入学いたしました。歳の差のない生徒への授業、送られてくる分厚い教科書を読みレポートを書き試験を受ける日々、夏の日本女子大学でスクーリング等、充実した日々でした。淡海高等家政学校に就職して2年後、母校の上田光子先生のお誘いで、昭和46年5月に滋賀県立短期大学に非常勤実習助手として採用されました。その後、日本女子大学を昭和48年9月に卒業した翌年の昭和49年4月に、滋賀県立短期大学助手として採用されました。このことは在籍した研究室の教授・松下準二先生のお力添えにより叶ったもので、私の研究者としての出発点をつくってくださったことに深く感謝しております。

平成7年4月に滋賀県立短期大学講師となり、平成8年3月に閉学になるまで、同短期大学には23年11ヶ月勤務いたしました。この間、同大学工業部の清水慶昭先生、当時三重大学の木村光雄先生および大阪府立大学の高岸徹先生の絶大なご指導とご支援により平成6年4月に大阪府立大学で博士(工学)を取得いたしました。

平成7年4月に滋賀県立大学が開設され、同大学人間文化学部に着任いたしました。この年は短期大学と兼任でした。平成16年4月に助教授、平成19年4月に准教授、平成23年4月に教授となり、同大学で18年間勤めて、ここに43年間の研究生活に終止符を打つことになりました(教員生活は少し続きます)。

私の研究は、洗浄および界面活性剤に関するもの、絹および関連繊維の染色に関するもの、天然染料の染着機構に関するもの、色素の鑑別に関するもの、キチン・キトサンおよびそれらの誘導体に関するものです。

滋賀県立短期大学では、最初は牧野俊子先生、後に中村了子先生と奈良女子大学(当時の所属は奈良佐保女学院短期大学)の吉川清兵衛先生のご指導により、洗浄および界面活性剤に関する報文2報が掲載されました。中村了子先生のご転任後、同短期大学工業部の清水慶昭先生にご指導を頂くことになり、木村光雄先生、横山早美先生(京

都聖母女学院短期大学)、高岸徹先生との共同研究を含め、滋賀県立短期大学および滋賀県立大学では、絹および関連繊維の染色に関する報文21報、天然染料の染着機構に関するもの9報、野草抽出物の抗菌性に関するもの1報、色素の鑑別に関するもの1報、キチン・キトサンおよびそれらの誘導体に関するもの7報および界面活性剤の吸着に関するもの1報、計42編の報文が主に学会誌に掲載され、学会発表も40回行なうことができました。さらに、木村光雄先生との共著「自然を染める 植物色素の基礎と応用」を出版いたしました。また、共著「被服学事典」(朝倉書店)と「衣服の百科事典」(丸善)では、染色に関する項目を分担いたしました。これらの事典は平成26年に刊行予定です。

思えば、滋賀県立短期大学時代は学生実験室の片隅ではありましたが、実験するための(決まった)場所があり、研究環境の充実とその整備にいつもご配慮頂いた研究室の先生方とご指導頂いた清水慶昭先生のお陰で、自由に楽しく研究に取り組むことができました。一方、滋賀県立大学になってからは、文系の研究室以外は自分や卒業研究生のための研究実験をするための場所がなく、設備の整っていない狭い研究室の限られた空間で研究を続けることや卒業研究の指導をすることには多くの困難がありました。しかしながら、記述のような成果をあげることが出来ましたことを喜んでおります。

無事に定年退職を迎えられましたのは、良き指導者と優れた共同研究者や卒論学生、いつも見守り支えてくださった人々のお陰です。ここに皆様に厚くお礼申し上げます。

本書では発表論文と学会発表要旨を掲載し、研究成果の集大成の一部といたします。

平成26年3月吉日

道明 美保子

# 道明美保子 研究業績一覧

## ■研究論文■

### 絹およびそれらの誘導体に関する研究

#### 1. 反応染料の反応機構に関する研究

- 1) Reaction Mechanism of Sulfatoethylsulfon Dye with Silk ..... 2  
Mihoko Dohmyo, Yoshiaki Shimizu, and Mitsuo Kimura  
The Journal of Sericultural Science of Japan, 53 (1), 64-68 (1984).
- 2) Reaction Mechanism of Reactive Dye with Silk ..... 7  
Mihoko Dohmyo, Yoshiaki Shimizu, and Mitsuo Kimura  
The Journal of Sericultural Science of Japan, 54 (3), 181-185 (1985).
- 3) 新しいタイプの市販反応染料による絹の染色 ..... 12  
道明美保子、清水慶昭、木村光雄  
日本蚕糸学雑誌、第55巻4号、338-342 (1986).

#### 2. 反応分散染料の染着機構に関する研究

- 4) 反応分散染料による絹の染色 ..... 17  
道明美保子、井上吉教、清水慶昭、木村光雄  
日本蚕糸学雑誌、第57巻1号、38-42 (1988).
- 5) 絹に対するスルファトエチルスルホン型反応分散染料の染着 ..... 22  
道明美保子、清水慶昭、木村光雄  
日本蚕糸学雑誌、第58巻1号、25-28 (1989).
- 6) Simultaneous dyeing of silk and synthetic fibres with sulphatoethylsulphonyl ... 26  
reactive disperse dyes  
M. Dohmyou, Y. Shimizu, M. Kimura  
Journal of the Society of Dyers and Colourists, 106, 395-397 (1990). (England)
- 7) 反応型分散染料による絹の染色 ..... 29  
道明美保子  
滋賀県立大学人間文化学部研究報告人間文化、5・6号、61-65 (1999).

#### 3. 酸性染料の染着機構に関する研究

- 8) 酸性染料による絹の染色に及ぼす尿素の影響 ..... 34  
道明美保子、大久保球子、清水慶昭、木村光雄  
日本蚕糸学雑誌、第54巻2号、143-148 (1985).
- 9) 長鎖アルキル基を有する酸性染料の絹に対する染着 ..... 40  
道明美保子、清水慶昭、木村光雄



	日本蚕糸学雑誌、第56巻2号、116-119 (1987).	
10)	天蚕糸の酸性染料に対する染色性……………	44
	中嶋哲生、道明美保子、清水慶昭、木村光雄	
	日本蚕糸学雑誌、第60巻5号、372-376 (1991).	
<b>4.</b>	<b>分散染料の染色性に関する研究</b>	
11)	絹に対する非イオン性染料の染色性に関する研究……………	49
	木村光雄、道明美保子、清水慶昭	
	日本学術振興会染色加工第120委員会年次報告、第38巻、52-55 (1987).	
12)	絹に対する分散染料の染着……………	53
	清水慶昭、道明美保子、木村光雄	
	滋賀県立短期大学学術雑誌、第36号、1-4 (1989).	
<b>5.</b>	<b>金属錯塩染料の染着機構に関する研究</b>	
13)	絹の堅牢な黒染……………	57
	木村光雄、清水慶昭、道明美保子、中嶋哲生	
	日本蚕糸学雑誌、第59巻2号、92-96 (1990).	
<b>6.</b>	<b>塩基性染料の染着機構に関する研究</b>	
14)	塩基性染料による絹の染色……………	62
	道明美保子、清水慶昭、木村光雄	
	日本蚕糸学雑誌、第60巻3号、161-165 (1991).	
15)	塩基性染料による絹の染色—不安定染料による試み—……………	67
	道明美保子、植嶋宏元、清水慶昭	
	滋賀県立短期大学学術雑誌、第41号、41-46 (1992).	
<b>7.</b>	<b>絹／合成繊維混紡の同時染色に関する研究</b>	
16)	反応分散染料による絹／合成繊維混紡の1浴染色の試み……………	73
	木村光雄、道明美保子、清水慶昭	
	日本学術振興会染色加工第120委員会年次報告、第40巻、32-35 (1989).	
17)	マロニル残基を含むアゾ染料による絹／合成繊維の染色……………	77
	道明美保子、井上吉教、清水慶昭、木村光雄	
	日本蚕糸学雑誌、第61巻4号、328-334 (1992).	
18)	Simultaneous dyeing of silk and nylon or silk and polyester ……	84
	with disperse azo dyes	
	Mihoko Dohmyo, Yoshiaki Shimizu, Mitsuo Kimura and Toru Takagishi	
	The Journal of Sericultural Science of Japan, 64 (2), 184-190 (1995).	



## 8. 野蚕絹の染色性に関する研究

- 19) 柞蚕絹の染色性 ..... 91  
清水慶昭、道明美保子、中嶋哲生、木村光雄  
日本蚕糸学雑誌、第58巻4号、302-307(1989).
- 20) 天蚕糸の分散染料および反応分散染料に対する染色性 ..... 97  
道明美保子、清水慶昭、中嶋哲生、木村光雄、高岸徹  
日本蚕糸学雑誌、第63巻2号、164-166(1994).

## 9. 絹のアミノ末端基の定量に関する研究

- 21) ニンヒドリン法による絹のアミノ末端基の定量 ..... 100  
清水慶昭、道明美保子、並河亮介  
滋賀県立短期大学学術雑誌、第31号、1-4(1987).

## 10. 学位論文

- 22) 絹に対するイオン性および非イオン性染料の染着機構に関する研究 ..... 104  
大阪府立大学、工第632号、1-201(1994).

## 天然染料の染着機構に関する研究

- 23) 絹に対するオキシアントラキノン類の染着 ..... 109  
清水慶昭、道明美保子、中嶋哲生、木村光雄  
日本家政学会誌、第42巻7号、629-633(1991).
- 24) ポピーの花弁から得たアントシアニン系色素による絹布の染色 ..... 114  
—抽出方法および前処理の影響—  
道明美保子、雲出三緒、清水慶昭  
蚕糸・昆虫バイオテック、第76巻1号、63-67(2007).
- 25) ポピーの花弁から得たアントシアニン系色素による絹布の染色 ..... 119  
—染色温度・時間および洗剤の影響—  
道明美保子、今村香菜江、佐藤友香、清水慶昭  
蚕糸・昆虫バイオテック、第77巻1号、53-57(2008).
- 26) 木綿の染色における濃染固着剤の効果に関する研究(第1報) ..... 124  
—酸性染料による染色に対するカチオン性濃染固着剤の効果—  
横山早美、道明美保子、木村光雄、浦川宏  
繊維製品消費科学、第50巻1号、69-75(2009).
- 27) 木綿の染色における濃染固着剤の効果に関する研究(第2報) ..... 131  
—フラボノール系天然染料に対する濃染固着効果と染着の機構—  
横山早美、道明美保子、木村光雄、浦川宏

- 繊維製品消費科学、第50巻1号、76-81(2009).
- 28) キチン／セルロース複合繊維に対する苧安染料の染着性…………… 137  
道明美保子、下川綾子、清水慶昭  
キチン・キトサン研究、第16巻1号、3-10(2010).
- 29) キチン／セルロース複合繊維に対するキハダ染料の染着性…………… 145  
道明美保子、土橋はづき、清水慶昭  
キチン・キトサン研究、第16巻2号、59-64(2010).
- 30) 天然染料による簡便染色法とそれによるカラートライアングルの作成…………… 152  
道明美保子、有賀薫、横山早美、清水慶昭、木村光雄  
日本家政学会誌、第62巻3号、189-195(2011).
- 31) 乾燥藍葉による綿布の染色…………… 159  
道明美保子、久保田奈純、清水慶昭  
滋賀県立大学人間文化学部研究報告人間文化、33号、13-17(2013).

### 野草抽出物の抗菌性に関する研究

- 32) 野草抽出物で処理した綿布の抗菌性…………… 164  
浦部貴美子、小塚智子、道明美保子、灘本知憲  
日本家政学会誌、第64巻12号、791-795(2013)

### 色素の鑑別に関する研究

- 33) 江戸時代の緑色染織布に使用された色素の鑑別…………… 169  
道明美保子、長屋圭子、清水慶昭、西原仁美、木村光雄  
日本家政学会誌、第54巻1号、17-26(2003).

### キチン・キトサンおよびそれらの誘導体に関する研究

- 34) 染色加工排水処理に関する研究(第4報)…………… 179  
井上吉教、道明美保子、渡辺美加、清水慶昭  
滋賀県立短期大学学術雑誌、第27号、1-3(1985).
- 35) 染色加工排水処理剤としてのキチンの利用…………… 182  
清水慶昭、井上吉教、道明美保子、木村光雄  
水処理技術、第29巻1号、43-48(1988).
- 36) Dyeing Chitin / Cellulose Composite Fibers with Reactive Dyes…………… 188  
Yoshiaki Shimizu, Mihoko Dohmyou, Masatoshi Yoshikawa  
and Toru Takagishi

- Textile Research Journal, 74 (1), 34-38 (2004). (USA)
- 37) グルタルル化キトサンから合成した両親媒性高分子の界面特性…………… 193  
清水慶昭、米田晶子、道明美保子  
キチン・キトサン研究、第16巻3号、247-254 (2010).
- 38) 金属フタロシアニン系直接染料によるキチン／セルロース複合繊維の染色…………… 200  
清水慶昭、柴田あかね、道明美保子、山崎康寛  
キチン・キトサン研究、第17巻1号、3-8 (2011).
- 39) キチン／セルロース複合繊維の銅フタロシアニン系反応染料による染色と  
染色物によるチオールの酸化…………… 206  
清水慶昭、山下幸夫、道明美保子  
キチン・キトサン研究、第17巻2号、110-114 (2011).
- 40) コバルトフタロシアニン系反応染料の合成と合成した染料を用いて染色した  
キチン／セルロース複合繊維の酸化触媒作用…………… 211  
清水慶昭、光安良太、道明美保子、山崎康寛  
キチン・キトサン研究、第19巻1号、48-55 (2013).

### 洗淨および界面活性剤に関する研究

- 41) 被服汚れの洗淨に関する研究 —洗淨条件についての一考察—…………… 219  
牧野俊子、道明美保子  
滋賀県立短期大学学術雑誌、第14号、74-77 (1973).
- 42) 第2級アルコール系界面活性剤の特性に関する研究…………… 223  
—洗淨性とすすぎ性—  
道明美保子、中村了子、吉川清兵衛  
滋賀県立短期大学学術雑誌、第25号、76-80 (1984).
- 43) 高分子吸着剤に対する界面活性剤の吸着…………… 228  
道明美保子、清水慶昭  
滋賀県立短期大学学術雑誌、第27号、56-58 (1985).

### ■ 著 書 ■

- 1) 『自然を染める 植物色素の基礎と応用』…………… 232  
木村光雄、道明美保子  
木魂社、(2007).
- 2) 『被服学事典』2.2染色加工 2.2.2染色の工程 d. 染色の原理 …………… 233  
4) 染色に影響する因子



布施谷節子、佐々井啓、牛腸ヒロミ、平田耕造、石原久代、  
増子富美、長山芳子編  
朝倉書店(2014年刊行予定)

- 3) 『衣服の百科事典』、7. 染色加工 1. 染料の種類と原理 1) 天然染料(1)…………… 233  
日本家政学会編  
丸善(2014年刊行予定)

## ■ 総説・解説 ■

- 1) 身近な野草で染める—セイタカアワダチソウの染色性—…………… 236  
道明美保子  
滋賀県立大学人間文化学部研究報告人間文化、12号、  
特集 服飾をめぐって、10-13(2003).
- 2) 染色への取り組み…………… 240  
道明美保子  
滋賀県立大学人間文化学部研究報告人間文化、20号、  
デザインの現場から⑦、68-72(2007).

## ■ 学会等発表 ■

- 1) 反応染料と絹の反応機構 (I) …………… 246  
道明美保子、清水慶昭、木村光雄  
繊維学会昭和57年度年次大会研究発表会講演要旨集、105(1982).
- 2) 反応染料と絹の反応機構 (II) …………… 247  
道明美保子、清水慶昭、木村光雄  
繊維学会昭和58年度年次大会研究発表会講演要旨集、192(1983).
- 3) 部分加水分解キチンに対する染料および界面活性剤の吸着…………… 248  
清水慶昭、井上吉教、細川照代、道明美保子、木村光雄  
滋賀県立短期大学環境科学研究所第7回研究発表会  
講演要旨集、8-12(1987).
- 4) 分散型反応染料による絹の染色…………… 253  
道明美保子、清水慶昭、木村光雄  
日本家政学会第39回大会研究発表要旨集、91(1987).
- 5) 柞蚕絹の染色性に関する研究(第1報) …………… 253  
清水慶昭、道明美保子、中嶋哲生、木村光雄  
日本蚕糸学会第58回学術講演会講演要旨集、89(1988).

- 6) 絹に対するスルファトエチルスルホン型反応分散染料の染着…………… 254  
道明美保子、清水慶昭、木村光雄  
日本家政学会第40回大会研究発表要旨集、134(1988).
- 7) 絹／合成繊維に対するスルファトエチルスルホン型反応分散染料の染着…………… 254  
道明美保子、清水慶昭、木村光雄  
日本蚕糸学会第59回学術講演会講演要旨集、91(1989).
- 8) 絹に対するカチオン染料の染着…………… 255  
道明美保子、清水慶昭、木村光雄  
日本蚕糸学会第60回学術講演会講演要旨集、95(1990).
- 9) 絹に対するオキシアントラキノンの吸着…………… 256  
清水慶昭、道明美保子、中嶋哲生、木村光雄  
第32回染色化学討論会講演要旨、43-46(1990).
- 10) 天蚕糸に対する酸性染料の染色速度…………… 260  
中嶋哲生、道明美保子、清水慶昭、木村光雄  
日本蚕糸学会第61回学術講演会講演要旨集、93(1991).
- 11) 分散染料による絹およびナイロン、ポリエステル染色…………… 260  
道明美保子、井上吉教、清水慶昭、木村光雄  
日本家政学会第43回大会研究発表要旨集、137(1991).
- 12) 塩基性染料による絹の染色(不安定染料による試み)…………… 261  
道明美保子、植嶋宏元  
繊維学会平成3年度秋季研究発表会予稿集1991(F)、152(1991).
- 13) キチン及びその誘導体に対する吸着…………… 262  
清水慶昭、道明美保子、高岸徹  
滋賀県立短期大学環境科学研究所12回研究発表会講演要旨集、45-49(1992).
- 14) 天蚕糸の分散染料に対する染色性…………… 267  
中嶋哲生、道明美保子、清水慶昭、木村光雄  
日本蚕糸学会第62回学術講演会講演要旨集、93(1992).
- 15) 分散アゾ染料による絹およびナイロン、ポリエステルの1浴染色…………… 267  
道明美保子、清水慶昭、木村光雄、高岸徹  
日本蚕糸学会第63回学術講演会講演要旨集、34(1993).
- 16) 天然染料の日光堅ろう度改善に関する研究…………… 268  
木村光雄、道明美保子、清水慶昭  
日本家政学会第45回大会研究発表要旨集、197(1993).
- 17) 古代織物中の天然染料の鑑別について…………… 268

- 木村光雄、道明美保子、清水慶昭  
日本家政学会第46回大会研究発表要旨集、244 (1994).
- 18) テンセル繊維の染着性に関する研究 (第2報) 天然染料による染色 …………… 269  
道明美保子、清水慶昭、木村光雄  
日本家政学会第48回大会研究発表要旨集、207 (1996).
- 19) くちなしによる絹の染色…………… 269  
道明美保子、清水慶昭、木村光雄  
日本家政学会第49回大会研究発表要旨集、179 (1997).
- 20) キチン／セルロース複合繊維の反応染料に対する染色性…………… 270  
清水慶昭、東村敏延、道明美保子、吉川政敏、高岸徹  
繊維学会平成9年度秋季研究発表会予稿集1997 (F)、F-70 (1997).
- 21) 新しいクロロフィリンナトリウム色素の構造と染色…………… 271  
道明美保子、清水慶昭、木村光雄  
日本家政学会第50回大会研究発表要旨集、233 (1998).
- 22) 古代染織布中の天然染料の鑑別…………… 271  
道明美保子、木村光雄  
日本家政学会第51回大会研究発表要旨集、230 (1998).
- 23) 茶葉抽出色素による和紙布の染色…………… 272  
木村光雄、良辺文久、池側康彦、道明美保子  
日本家政学会第52回大会研究発表要旨集、188 (2000).
- 24) 江戸時代の緑色染織布中の天然染料の鑑別…………… 272  
道明美保子、西原仁美、木村光雄  
日本家政学会第53回大会研究発表要旨集、205 (2001).
- 25) セイタカアワダチソウの染色性…………… 273  
道明美保子、大長加奈、清水慶昭、木村光雄  
日本家政学会第54回大会研究発表要旨集、184 (2002).
- 26) 天然繊維の低温染色における熱力学的考察…………… 273  
田中佑香、道明美保子、木村光雄  
日本家政学会第55回大会研究発表要旨集、169 (2003).
- 27) 花卉のアントシアニンによる染色…………… 274  
道明美保子、清水慶昭、木村光雄  
日本家政学会関西支部第25回 (通算81回) 研究発表会講演要旨集、21 (2003).
- 28) キチン・キトサン／セルロース複合繊維の天然染料による染着性…………… 275  
—カチオン性天然染料(キハダ)の染着性—



- 土橋はづき、道明美保子  
日本繊維製品消費科学会創立45周年記念2004年年次大会・  
研究発表要旨、47-48 (2004).
- 29) 柿洪の染色性…………… 277  
道明美保子、作本未利  
日本家政学会第56回大会研究発表要旨集、63 (2003).
- 30) 花卉から得たアントシアニン系色素による染色…………… 278  
道明美保子  
日本繊維製品消費科学会2005年年次大会・研究発表要旨、25-26 (2005).
- 31) クズの葉を用いた葉緑素染色…………… 280  
古濱裕樹、牛田智、東井恵理奈、道明美保子  
日本家政学会関西支部第28回(通算84回)研究発表会講演要旨集、(2006).
- 32) 野草で染色した綿布の抗菌性…………… 280  
小塚智子、浦部貴美子、灘本知憲、道明美保子  
日本食品科学工学会第54回研究発表会講演要旨集、139 (2007).
- 33) 木綿の染色における濃染固着剤の効果に関する研究(第1報) …… 281  
—酸性染料による染色に対するカチオン性濃染固着剤の効果—  
横山早美、道明美保子、木村光雄  
日本家政学会関西支部第29回(通算85回)研究発表会講演要旨集、17 (2007).
- 34) 木綿の染色における濃染固着剤の効果に関する研究(第2報) …… 281  
—天然色素による染色に対するカチオン性濃染固着剤の効果—  
横山早美、道明美保子、木村光雄  
日本家政学会関西支部第29回(通算85回)研究発表会講演要旨集、18 (2007).
- 35) 各種織物(木綿、ポリエステルおよび綿／ポリエステル)に対する …… 282  
強アルカリ性電解水の洗浄効果  
小川由紀、菊地憲次、道明美保子  
第6回日本機能水学会学術大会講演要旨集、81-82 (2007).
- 36) Gardenian blue を染料として適用する試み …… 284  
横山早美、道明美保子、木村光雄、浦川宏  
日本家政学会関西支部第30回(通算86回)研究発表会講演要旨集33 (2008).
- 37) キチン／セルロース複合繊維の天然染料による染色…………… 284  
道明美保子  
日本家政学会関西支部第30回(通算87回)研究発表会講演要旨集、31 (2009).
- 38) 各種藍草に含まれるインジゴの定量…………… 285

- 久保田奈純、道明美保子、北澤勇二  
 日本繊維製品消費科学会2011年年次大会・研究発表要旨、54(2011).
- 39) 浴衣の文様…………… 286  
 末次祥子、道明美保子  
 日本家政学会関西支部第33回(通算89回)研究発表会講演要旨集、19(2011).
- 40) 乾燥藍葉による綿布の染色…………… 286  
 道明美保子、久保田奈純  
 日本家政学会第64回大会研究発表要旨集、129(2012).

## ■卒業研究指導■

- 1期生 東井 泰代：天然染料の染着性に関する研究—刈安の染着性—
- 2期生 庄田 詳美：天然染料の染着性に関する研究—キハダの染着性—  
長屋 圭子：名物裂に見られる緑色染料の鑑別
- 3期生 古濱 裕樹：天然染料の染着性に関する研究—葛による緑染め—  
大長 加奈：天然染料の染着性に関する研究  
—セイタカアワダチソウの染着性—  
中沢 きぬ：近江上布を制作してみて—近江上布の今後の展望—
- 4期生 下川 綾子：キチン／キトサンセルロース複合繊維の天然染料による染着性  
—非イオン性天然染料(苺安)の染着性—  
津村 早紀：キチン／キトサンセルロース複合繊維の天然染料による染着性  
—アニオン性天然染料(梔子)の染着性—
- 5期生 雲出 三緒：花びらのアントシアンによる染着性の研究  
—ポピーの染着性—
- 6期生 今村かなえ：花びらのアントシアンによる染着性の研究  
作本 末利：柿洪の染着性に関する研究  
白井 万理：名物裂に用いられた赤色染料の鑑別  
土橋はづき：キチン／キトサンセルロース複合繊維の天然染料による染着性  
—カチオン性天然染料(キハダ)の染着性—
- 7期生 富田 麻好：塩基性染料によるキチン・キトサン／セルロース複合繊維の染色  
吉田 恭子：天然染料による毛髪染色—白髪の色黒化の試み—
- 9期生 近藤 知子：カチオン界面活性剤が染着性および染色堅ろう性に及ぼす影響  
佐藤 友香：花卉のアントシアニンによる染色  
福岡 奈穂：西洋ロココ時代の衣装の再現—赤色染色の検討から—
- 10期生 岡田あゆ未：イオン性高分子による前処理が非イオン性色素の染着に及ぼす効果  
小川 由紀：各種織物(木綿、ポリエステルおよび綿／ポリエステル)に対する  
強アルカリ性電解質の洗浄効果  
夏目 典子：ヘナによる毛髪染色—色調増加の試み—
- 11期生 岩上 隼人：日本における大麻草の産業利用についての調査と考察  
岩崎 史子：現代における葛布の可能性
- 12期生 有賀 薫：天然染料による染色の簡便化
- 13期生 久保田奈純：安定的かつ効果的なインジゴ生成法  
伊藤 翔子：柿洪紙の有効性  
伊藤 理紗：綿布の前処理が染着性に与える影響



- 14期生 末次 祥子：ゆかたの文様  
中山 由夏：イオン性天然染料の染着性とその向上の試み
- 15期生 梶本 愛：各種乾燥藍葉による染色および堅ろう性の検討
- 16期生 杉谷あつ子：比較的安全な薬剤を用いた藍化学建ての検討